



# 制作の裏側

「広報とうのしょう」が届くまで

## 1. 紙面の構成を決める

各課から提出された原稿をもとに、レイアウトやページの割り付けを決めます。また、取材先の決定、スケジュール調整を行います。



印刷会社とのスケジュール

## 2. 取材・撮影

撮影やインタビューを行います。写真をたくさん撮り、読んだ人にその場の雰囲気が伝わるよう意識して撮影しています。



▲メインは写真右のカメラを使用。少し古いカメラですが頑張っています！

## 3. 原稿作成・校正

教育関係の記事が多い広報とうのしょうは、教職員の協力が必要不可欠です。記事の誤字・脱字、内容に誤りがないかを確認する校正作業を入念に行い、印刷会社と4回ほどのやり取りを経て制作終了となります。



▲赤ペンで修正作業を行います

## 4. 印刷・納品

発刊の約1週間前に印刷会社にて印刷を行っています。広報とうのしょうは4,600部発行しています。まずA3サイズに印刷をし、機械を使って2つに折ることで広報のA4サイズにしています。



▲印刷に使用している機械

## 5. 仕分け・配布

職員が作業で地区ごとに数を数え、回覧文書などとまとめています。配布は毎月1日(休庁日の場合は前開庁日)、庁用車2台で、笹川地区と橘・東城・神代地区に分かれて区長さん宅やコンビニ、スーパーなどに配布をしています。



▲車の荷台は配布物でいっぱいです



▲区ごとへの配布分の約3,500部を仕分けします



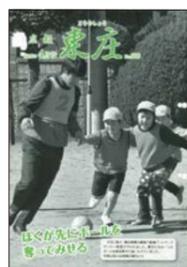
▲広報以外の配布物(チラシなど)も月によって多くあります



広報とうのしょうは、

を迎えました。

東庄に寄り添い、東庄の魅力を伝えるために毎月発刊される「広報とうのしょう」これまでの広報のあゆみ、制作の裏側を特集します



昭和49年8月 100号  
当時、町内ではマスクメロンの収穫が盛んで、表紙にもなりました。



平成19年12月 500号  
この頃からタバコに関する規則の制が増え始め、町でも、東庄病院内などの全面禁煙を開始しました。



平成11年8月 400号  
同年11月のふれあいまつりにて、町のイメージキャラクター「くたー」(くじゆりんくん)がお披露目されました。



平成3年4月 300号  
東庄と旧海上町・旧飯岡町(旭市)を結ぶ31キロメートルを舞台にした天保駅伝大会がありました。



昭和57年12月 200号  
町長杯テニス大会や、町駅伝大会、子ども自転車大会などのスポーツイベントが多くありました。



平成3年4月 300号  
東庄と旧海上町・旧飯岡町(旭市)を結ぶ31キロメートルを舞台にした天保駅伝大会がありました。

## 広報とうのしょうで振り返る、「あの頃」

平成19年12月 第500号表紙に掲載  
小林 良則 さん(羽計台区)



あれから17年...  
陶遊会の会長を務めています

陶芸は、定年退職をきっかけに始めました。当時からふれあいまつりでも陶芸作品を出品していました。餅投げがあったり規模も今より大きかったり、当時からとても懐かしいですね。昔に比べればこじんまりとしたふれあいまつりですが、今年も楽しみにしています。

餅投げを楽しむ様子



石出小鼓笛隊による演奏や餅・お菓子投げ、丸太切り対決などで大盛況でした。

平成11年8月 第400号にて「出生」コーナーに掲載  
宮内 正人 さん(石出区)



あれから25年...  
3人制プロバスケ選手として活躍しています

プロバスケ選手として、練習拠点である神奈川と地元東庄での2拠点生活をしています。東庄は近くに友人やご近所さんがいて、自然がたくさんで、ほっとします。大好きな東庄をスポーツの力で盛り上げていけるよう、今はイベントの企画や選手としての活動を頑張っています。いつか町でスポーツイベントを開催したいです。

当時のイベント



宮内さんが掲載された月の広報掲載の出生数は9人、町の人口は17,614人。夏祭りなどの記事が1面を飾りました。

平成3年4月 第300号「天保駅伝」6区区間賞掲載  
豊永 昌利 さん(羽計台区)



あれから33年...  
大好きな「陸上」を仕事にしています

青春を捧げた、厳しい練習の日々を思い出し、とても懐かしいです。当時、全国中学校体育大会に出場しました。現在は、大好きな陸上に携わる仕事をしています。残念なことに、駅伝大会は年々減ってきています。「天保駅伝」のような、地域全体で盛り上がる駅伝大会がまた開催されることを願い、これからも頑張っていきたいと思っています。

当時中学生の豊永さん



当時からスポーツが盛んであった東庄。天保駅伝の記事は2ページにわたり掲載されました。